



# 双葉ヶ丘だより

令和7年度2月号

八田中学校

TEL0773-44-0024

## 八田中学校の「校風」

- ☆ 元気にあいさつ
- ☆ まじめに頑張る
- ☆ 一丸になる

### 日常の風景が見える部屋はいい

例年、2月10日頃には幾つかの学校の入試が行われるのですが、この時季に合わせたかのように雪が降ることが多く、今年も「やっぱり降ったか。」となりました。通学路の除雪や送迎など保護者の皆様や地域の皆様にはお世話になりました。



そんな大雪の日、2年生教室から外を眺めると、本館から幼稚園に向けて1本の雪の小径（こみち）が作られており、自分の背丈の半分以上もある雪の間を園児が保護者と手をつないで歩いていました。また、別の日には前日に作った雪だるまの様子を見に出てきた園児や、わざわざ雪の中を歩いて遠回りするわが子を雪の小径に立って待つ保護者の姿などが見られました。本校は教室や職員室、校長室からグラウンドや山々の自然が眺められる恵まれた環境にあります。受験生にとってはやっかいな雪ですが、園児にとっては心が弾む雪なのでしょう。日々の風景に心がホッとします。



### 腰や肩、腕が痛くなるのだが

ところで、大雪の時は教職員が早朝から除雪作業をします。今回も、前日の日曜日夕方に教頭が行ったり、当日の朝午前3時、4時に家を出て除雪作業を行ったりと職員には負担をかけました。また、用務員は早朝から1日がかりで敷地内の除雪を行いました。「ご苦労さまです。」「休憩しながらしてくださいね。」と声をかけますが、この作業の本当の大変さは経験してみないとわかりません。子どもたちの学びは、授業だけでなく、このような見えないところで誰かが行う行為によって支えられています。また、お金を払って重機で除雪をしていただくことも方法の一つですが、府南部育ちの大雪を知らない職員にとっては、除雪作業が貴重な経験となっています。改めて、校門下の坂道などを除雪いただいていることにお礼を申しあげます。



### 離すこと 離さないこと

さて、2月も後半に入り中期選抜を残すのみとなりましたが、受験生の保護者としてご家庭でどのように気に付けておられるのでしょうか。子育てには次のような人生訓があります。

#### <子育ての四訓>

乳児は「肌」を離すな  
幼児は「手」を離すな  
少年は「目」を離すな  
青年は「心」を離すな

中学生は四訓でいう青年期に入り、親の目が届かないことが増えますが、成長する段階で、肌を離し手を離し目を離していく訳ですから仕方ありません。ただ、「心を離すな」の理屈は

わかりますが、思春期以降の子どもの大きな変化を前に、ぐっと我慢して心を向け続けることは本当に難しいことです。そこで、この時期の子育てとして次のようなことを追加してはどうでしょうか。

**受験生は「〇〇」を離すな** 〇〇には「対話」「笑顔」など自由に入れれば良いと思います。どの子どもにとっても受験は壁です。それを乗り越えるべく挑戦している訳です。そんな時こそ対話や笑顔をもって接してやりたいものです。4月以降のそれぞれの生活に向けて、八田中アップデートを続けてまいります。 校長 小林 孝伊

### キャリア教育講演会

～自分たちの生き方について考える～

2月6日（金）に綾部市内の中学生を対象にしたキャリア教育講演会がオンラインで開催されました。『地元企業を「知る」「学ぶ」キャリア教育』と題して行われた講演会では、株式会社ベルテックス技術部主任の大槻圭介様と京都府綾部警察署警務課長の岩本正吾様にご講演をいただきました。

たくさんのメモをとりながら真剣に話をきく生徒の姿や感想から、生徒たちにとって地元綾部を知るとともに、働く意義ややりがい、今後の進路を考えるきっかけとなったことがうかがえました。

講演会後には、冬休みの課題で行った「身近な職業調べ」に続き、自身の夢や希望、興味・関心に基づく職業調べを行い、学びを深めました。



### 頑張る八田生！

○令和7年度 京都府学校文化・芸術祭  
第57回教育美術展覧会



奨励賞 白波瀬穂美  
(海外交流作品)

奨励賞 鍋師花歩

○第71回青少年読書感想文

京都府中学校コンクール

優秀賞 田中伶太  
優秀賞 能勢結菜

○第85回全国教育美術展



特選 山田耕

入選 大西悠月

## 中学生“みらい”会議

1月29日（木）に、綾部市内の中学2年生を対象にした今年度2回目の中学生“みらい”会議がオンラインで開催されました。

本校は、「演劇でつながるハ田中学校」と題して、伝統として受け継がれている演劇活動、その意義と自分たちの生き方に繋がる学びについて発表しました。思いや考えが伝わるよい発表となりました。

(発表内容抜粋1)

ハ田中学校が演劇を大切にしている理由は、普段の学校生活だけでは得られない経験ができたり、逆に演劇活動をする中で、学校生活に必要な力をつけることができたりするからだと思います。例えば、演劇を完成させるまでの時間は決まっているので、自分の仕事を確認し、計画的に作業を進める力。周りの様子を見て、いろんな人と自分から関わりを持つ力。意見がぶつかったとき、どういう言葉で伝えれば思いが通じるか考える力などです。



また、先輩の演劇は、劇に込められたメッセージがとても深く、その思いを伝える演技力や照明、音響の上手さに圧倒されます。だから、「来年、自分たちもこんな風に演劇したい」という思いになりますし、それが次の代へと引き継がれていく理由の一つだと思います。私たちは文化祭で演劇できるのが、残り1回しかないけれど、先輩を超えるような演劇を作りたいと思います。

(発表内容抜粋2)

よい演劇をするには学級全体が協力する必要があります。しかし、学級の全員がいつも同じ思いとは限りません。そこで、演劇を成功させるためには、僕は「全体をまとめる力」が重要になってくると思います。



この演劇で重要な「全体をまとめる力」は、演劇以外の場面でも役に立つと思います。社会に出ても様々な場面で話し合いがあると思います。一人一人が違う考え方を持つことは大切ですが、意見をまとめ、折り合いをつけなければ話し合いの意味がありません。だから、これから的人生で「まとめる力」は重要であり、演劇活動での経験が生きると思います。

最後に、僕たちは演劇を「やらされている」のではなく、「自分たちが楽しいからやっている」ということが大切だと思います。演劇だけでなく、何事も「自分が楽しくしていく」という志が大切だということも演劇から学べることだと思います。

## 防災学習

1月27日（火）に、綾部市市長公室防災・危機管理課の防災・危機管理担当長の武宏樹様と防災・危機管理主事の小松佳南様を講師にお招きし、防災学習を実施しました。



講話では、身近な綾部市で起こった災害、災害時の対応、避難の大切さ、自分の命を自分で守ることの大切さなどを教えていただきました。

また、段ボールベットの組み立て体験を通して、避難所運営についても学びました。講師の小松様から、自分の体調を優先してできる範囲で行動することが大切で、その上で、荷物を運ぶ手伝いや周りの人への思いやりも助け合いの一つになることを教えていただきました。

## 3月の行事予定

※あくまでも予定ですので、変更する場合もあります。変更の場合は別途連絡します。

日	曜	行 事	完全下校	日	曜	行 事	完全下校
1	日			18	水	令和9年度公立高校入学者選抜新制度説明会 14:05	16:00
2	月		17:00	19	木	1、2年生給食終了	17:00
3	火		17:00	20	金	春分の日	
4	水		16:10	21	土		
5	木		17:00	22	日		
6	金	公立高校中期選抜（3年生は給食後下校）	17:00	23	月	PTA会計監査	12:40
7	土	綾部市人権教育講演会 13:30（中丹文化会館）		24	火	修了式・進級式	12:00
8	日			25	水		
9	月	人権学習（3年生）	17:00	26	木		
10	火	性に関する学習（全学年）	17:00	27	金		
11	水	3年生を送る会 3年生給食終了	16:10	28	土		
12	木	卒業式予行	別途連絡	29	日		
13	金	第79回卒業証書授与式	別途連絡	30	月	離任式	
14	土	令和8年度「飛び立て！中学生海外派遣事業」面接		31	火		
15	日	令和8年度「飛び立て！中学生海外派遣事業」面接		【4月の主な予定】			
16	月		17:00	8日（水）	始業式・着任式	23日（木） 全国学調（国数英 3年生）	
17	火	公立高校中期選抜合格発表	17:00	10日（金）	入学式	24日（金） 振替休業日	
				19日（日）	PTA総会（午後）		

学校のホームページを開設しています。行事や連絡事項の確認にご活用ください。

URL <https://www.kyoto-be.ne.jp/yata-jhs/cms/>

